

会議録【全文筆記】

| | | |
|--------------|--|------------------------|
| 会議名称 | 令和6年度 第2回米沢市総合計画審議会 | |
| 開催日時 | 令和6年7月31日(水) 午後3時30分～午後5時15分 | |
| 開催場所 | 庁議室 | |
| 出席者 | (委員等氏名) | (所属団体等) |
| | 会長 野々村美宗 | 山形大学工学部 副学部長 |
| | 会長代理 田中明子 | 米沢商工会議所 事務局長兼総務企画部長 |
| | 委員 伊藤広幸 | 米沢市内高等学校校長会 会長 |
| | 委員 伊藤優子 | 株式会社ニューメディア 取締役米沢センター長 |
| | 委員 岩崎令子 | 米沢観光コンベンション協会 副会長 |
| | 委員 加藤公一 | 米沢市芸術文化協会 副会長 |
| | 委員 川野敬太郎 | 米沢青年会議所 特別常任理事 |
| | 委員 川村麻耶 | 団体職員 |
| | 委員 小関洋子 | 米沢市青少年育成市民会議 副会長 |
| | 委員 小山克成 | 米沢市小中学校校長会 |
| | 委員 斎藤美綺 | 株式会社nitorito 取締役 デザイナー |
| | 委員 須貝容子 | 米沢市保育会 副会長 |
| | 委員 清野雅好 | 米沢市社会福祉協議会 地域支援課長 |
| | 委員 土田良雄 | 米沢市スポーツ協会 会長 |
| | 委員 平山博志 | 山形県自主防災アドバイザー |
| | 委員 松田智博 | 米沢市商店街連盟 理事長 |
| | 委員 我妻康次 | 米沢市コミュニティセンター館長会 会長 |
| 欠席者 | 委員 大和田浩子 | 山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 学部長 |
| | 委員 島倉邦広 | 米沢市電子機器機械工業振興協議会 会長 |
| | 委員 佐々木隆行 | JA山形おきたま米沢地区青年部 委員長 |
| 事務局 | 総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、議会事務局長、政策企画課長、政策企画課長補佐兼未来都市推進室長兼総合計画策定室長、政策企画課企画調整主査、政策企画課主任、政策企画課主事 | |
| 会議次第 | 1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 米沢市まちづくり総合計画の評価・検証について (2) 米沢市の現況とこれからのまちづくりのテーマについて (3) よねざわまちづくりフォーラムについて 4 閉会 | |
| 会議資料 | (1) 次第 (2) 名簿 (3) 米沢市まちづくり総合計画の評価・検証について……………資料1 (4) 米沢市の現況とこれからのまちづくりのテーマについて…資料2 (5) よねざわまちづくりフォーラムについて……………資料3 | |
| 会議内容 | | |
| 【1 開会】 省略 | | |
| 【2 会長あいさつ】 | | |

皆様こんにちは。本日はお忙しい中、そして暑い中、お集まりいただき心から感謝申し上げます。今回は第2回審議会でございます。今回から具体的な総合計画の中身を議論していくこととなります。今日は米沢市の状況を御報告いただきまして、その後でこれからどのようなことをテーマにまちづくりを進めていくかとか、まちづくりフォーラムを開催していくことを予定しておりますけれども、フォーラムをどのように進めていくかを議論していくこととなります。どのようなことでも結構ですので、普段気になっていることやどうなっているのだろうと思ったようなことを御意見いただければうれしいと思います。一つ一つの意見が充実した未来の米沢のまちをつくるための大事なアイデアにつながってくるのではないかと考えていますので、肩肘を張らず思ったことを言っていただければうれしいと思っております。それでは本日の会議を始めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

【3 議事】

(1) 米沢市まちづくり総合計画の評価・検証について

(資料1に基づき説明)

会長 御意見、御質問などございましたらお願ひいたします。
(意見等はなし)

(2) 米沢市の現況とこれからのまちづくりのテーマについて

(資料2に基づき説明)

委員 私は住まいが南陽市なので、米沢市のことを存じ上げないで質問するのですけれども、出生率が本当に危機的な状態だと思っています。よく3人産んだらお祝い金のような取組がありますが、米沢市にあるのですか。もう一つはこれもテレビで見るとは思いますが、例えば尾花沢市で小学生の給食に尾花沢スイカを提供するようなものがありますが、そのようなことを米沢市もやっているのですか。

事務局 米沢市の場合、出生した時のお祝い金は準備しておりません。ただ、2番目、3番目のお子さんが保育所に入る時など、特に3番目以降のお子さんは保育料を無償化する対応をとらせていただいております。

事務局 本市の学校給食では地元の食材を使ったメニューを出しております。実際にどういう食材か、どういった特徴があるか、どのようところがおいしいかとか、実際にその食材を使ってこんなメニューがあるということを経験だよりなどを使って、子どもたちや保護者、家庭にお伝えしているところでございます。

委員 3番目から保育所の無償化があるということですが、2番目からとかにしていただけないでしょうか。今、本当に人口がどんどん減っています。余計な話ですが、皆様方が高校生の時より異性と付き合っている子が少ないです。統計を取ったわけではないですが、明らかに少ないことが分かります。いろいろな要因があると思いますが、少なくともこのままいけば本当に結婚しないだろうと思います。少しでも結婚、出産に魅力を感じてもらえるのではないかと思いますので、1人目からでも良いのかもしれないですが、いかがでしょうか。もう一つは様々な場で申し上げているのですが、米沢の駅弁「牛肉どまん中」は日本一です。しかし、高校生の多くは食べたことがないのです。高校生が食べられるように、上杉まつりの弁当を「牛肉どまん中」にさせていただきたいと思っております。あと、米沢牛は松阪牛に

次いで日本で2番目だったはずですが、その本物を小学生にステーキなどで提供してはいかがでしょうか。確かにお金はかかると思うのですが、将来への投資だと思います。

事務局

資料の3ページにもあるのですが、未婚率、結婚しない人が増えているというところが一番課題なのではないかと思っています。付き合い合っている子が少なくなっているという話もあるのですが、結婚観のようところが少し変わってきていると思います。結婚しなくても別に良いという風潮などもあつたりするので、そういったところを変えて、結婚する人が増えないと子どもが増えないところもあると思っています。子どもをつくられた家庭に対しての支援も大事ですが、その前の段階の結婚してもらうことが重要だと思います。あとは先ほど子どもたちが20代、30代になった時にどのくらい減っているかというところで、男性は4人に1人減っている、女性は3人に1人減っているという状況で、若年女性が外に出ていっているところも結婚が少なくなっている理由の1つになっているので、そういったところを変えていかなければいけないと思っています。

事務局

「牛肉どまん中」のお話は以前にもお聞きしておりました。今年は唐揚げ弁当だったはずですが、米沢の美味しいものを食べていただきたいということで、前向きに考えさせていただきたいと思っています。

事務局

米沢牛の関係ですと学園都市推進協議会と協力しまして、米沢女子短期大学と米沢栄養大学で米沢牛の牛丼を食堂のメニューとして出した例などもあります。そういったところでお金が許せばですが、高校生などにも広められれば良いと思います。

委員

様々な課題が挙げられているのですが、市役所からの視点だと思いついておりました。例えば市民や会員数が減になっている事業やイベントの周知方法に課題があると書いてあるのですが、本当に市民から求められているイベントかとか、原資が底をつくものがあつたとして補助金を別のところから取ってくる必要があるかというところで、市民の声を反映した総合計画の課題のようところは、先ほど定性評価の話があつたのですが、こういった形で反映されているか教えていただきたいです。

事務局

評価につきましては、基本的には市の担当課の回答となっております。課題にも書いてありますとおり、実際に利用されている方の意見とか、そういった方の意見を今後取り入れながら事業を考えていかなければいけないと考えています。そういった部分については、施策を考える上でアンケートなども行っておりますので、施策だけではなく様々な意見を聞きながら反映していきたいと考えています。

委員

資料からも分かる通り、市役所の皆様はすごくいろいろなことを考えてくださっていて、施策を打っていただいていると思うのですが、市民側からは実際にこういった成果があつたか検証が難しいと思うので、例えばですが、こういった審議会の場で審議委員一人ひとりが5人ずつ意見を聞いてくれば100人くらい集まりますし、皆様の御家族とか課の方が同じ保育園の方などから意見を聞いていただければ、市民の声を反映した形で課題が出るのではないかと思いますので、今後お願いできればと思います。

会長

市民の声をどのように聴取して、実際に反映するかは大事な事かと

| | |
|-----------|---|
| 事務局 | <p>思います。アンケートの話があったのですが、他にも取り組んできたことやこれからやろうとしていることなどがあればお願いします。</p> <p>この後御説明しますが、まちづくりフォーラムを開催しまして、一般市民や様々な団体、大学生、高校生の意見なども今後聞く機会がありますので、そういった中でも市の施策に対してどういった考えを持っているかといったことも聞いていきたいと考えております。</p> |
| 委員 | <p>業界でも国の取組などのお話を聞く機会がある中で、デジタル庁のウェルビーイングの話を知りました。もちろん分かった上でお作りになっていると思うのですが、地域幸福度のウェルビーイングの指標を使った考察など、そういったことをなさっているかというところ、客観的なところと主観的なところのずれがあるところが課題だという話をデジタル庁から聞いたことがありまして、米沢市の幸福度指標はどのように考えていらっしゃるかお聞きしたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>幸福度につきましては、アンケートで幸福度も聞いております。前回5年前に計画を作った時にも幸福度を聞いておりますので、今回もアンケートでお聞きしながら計画を作成していきたいと考えております。</p> |
| 委員 事務局 | <p>デジタル庁のダッシュボードは御覧になってますか。</p> <p>デジタル庁で出しているものは、こちらでも把握しておりますけれども、人数を絞った形で調査しているものだと聞いておりました。今回、アンケートにはなるのですけれども、いろいろ意見を聞きながら現状を把握していきたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>国交省で地域生活圏、二拠点生活を推進するという話を伺いまして、先ほど人口流出、若者がどんどん少なくなるという話があったと思いますけれども、例えば首都圏の会社に在籍しながら、給料はもらって米沢で生活するという二拠点生活であれば、米沢に無理に働く場所をつくらなくても米沢に住んでもらうことができますというやり方もあることを伺いましたので、御提案させていただきました。</p> |
| 会長 | <p>二拠点生活の御提案は大事なアイデアと思っています。私が聞いているところでは、二拠点生活は首都圏に居住地を持ちながら休みはこちらで生活する、例えば山梨、長野などは成功していて、私の知人も住民票を移して二拠点で行ったり来たりしています。友人はスキーが趣味でそれが決め手で長野にしたとおっしゃっていたので米沢でも良かったのではないかという話をしました。あとはこちらであれば首都圏では住めないような家に住めるわけです。今までも繰り返し出ている食べ物の魅力とかアピールポイントがあつて、二拠点生活の2カ所目あるいは3カ所目かもしれませんけれども、そういう所として米沢はポテンシャルがあるのではないかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>首都圏より米沢に住むには良いということは市長も申し上げております。東京のマンションなどは一般の20代の方の届くような金額ではなくって、通勤に何時間もかけるような形であれば、米沢に住んでテレワークで仕事するといった生活もあるだろうと言っておりますので、今回の総合計画でも考えていきたいことと、米沢は東京まで2時間で行けることを首都圏の方は知らないというところもあると思いますので、アピールしていく必要もあると思っています。</p> |
| 会長 | <p>この審議会でも1つの課題として取り上げていただけるとよろしいかと思っております。そのときに何をアピールしていくかは大事と思っていま</p> |

す。新幹線が通っているのは結構大きく、新幹線沿線は行き来しやすいです。もう一つは首都圏から車で行き来しようと思えばできる距離で、福島から山1つ越えれば良いし、高速もできてアプローチは良くなったのではないかと思います。

委員

香川県三豊市が地域生活圏のモデル都市になっているようで分かりやすい動画が上がっていましたので、御覧いただければと思います。空き家を再生した所に住む取組をやっていらっしゃるようなので御覧いただきたいと思います。

会長

空き家の再生などは米沢でやっているのですか。

事務局

空き家の再生の件でございますが、こういった形で空き家を再生していくかという形はありますが、本市では補助制度で空き家を再生する場合と、あとは移住などの方に一定程度の補助を出すという制度で空き家を再生するという取組をしております。

委員

東京から2時間というのは大事だと思います。一番早いものは2時間かからないです。多くの人に米沢から東京は2時間だということびっくりするのです。そこをもっとアピールしてほしいです。特にコロナになってからオンラインでの仕事が増えて拠点を地方に移す人が増えてきています。発想の転換で第2拠点がここになると人口が増えるのではないかと思います。

委員

二拠点生活で生活している人は恩恵があるのかもしれないけれども、住んでいる人には恩恵が出てくるものなのですか。

会長

そうなのではないかと思います。地域で住む人間の数が増えることは少なくとも経済的効果はあるのではないかと思います。

委員

資料2の財政のところ、財政は厳しく今後も続くという話でしたけれども、どの辺まで続く予定という見込みはあるのですか。

事務局

年度毎に予算を作成しております、15年くらい先までの見通しはシミュレーションという形で出しております。景気の動向などもありまして、5年、10年先にそのとおりにいくかは難しい部分でございますけれども、現在の税収や基金の残高などがどのような形で推移していくかというシミュレーションはしております。やはり基金残高などは様々な建設費用ですとか地方債の返済などが立て込んでまいりますので、かなり厳しい状況であることは変わらないと思っております。いかに歳入を確保し、歳出も様々な形で工夫しながら考えていかなければならない状況でございますし、委員の皆様にも御理解いただければと思っております。

委員

財政が厳しいことは理解しています。今の状態では何年先まで財政が厳しいかをお伺いしたいのです。

事務局

いつ頃回復するかということになりますと、税収などがどのように伸びていくかという見込みが必要になってくると思っております。歳出はある程度の先行きは分かるのですけれども、歳入の見込みは現状では難しく増やしていく努力をどれだけしていかなければならないかという目安に留まっている状況です。令和9年度までは実質単年度収支としては赤字が続きます、厳しい状況が続くということでございますが、その後どの程度まで回復するかは実質単年度収支が赤字ではない、もしくはその近辺という流れで推移するのではないかと見込んでございます。

委員

私どもがこれから討議をするのは令和8年から令和17年までの話を

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>するわけですので、いつまで厳しいという状況が続くと想定されているかお話を伺いたかったのです。</p> |
| 事務局 | <p>毎年、当初予算の編成の時に議会に対して今後 10 年間の財務見通しは提出しています。その中で令和 9 年度までマイナス、赤字になっているという形です。それ以降はとんとんくらいにはなりそうですが、実際にやってみないと分からないところがあるので、総合計画審議会ではお金の問題は大事ですけども、お金にとらわれてしまうと何もできなくなってしまいますので、皆様の考え方や今後どういったことをやっていったら良いか、どういったことが必要かというところをお話いただいたほうが良いのではないかと考えております。</p> |
| 委員 | <p>6 月に台湾アジア国際温泉旅行協会に御支援いただきまして、ありがとうございます。約 60 名の台湾の方がいらっしゃったのですが、米沢にバス・トイレ付きのところが多く、赤湯でお世話になりました。米沢でも泊まれるような施設、せっかく小野川温泉、白布温泉があってもバス・トイレ付きがないために来なくなることがあるので、できればと思っています。また、道の駅にそういう施設ができないものかと思っています。災害にも備えて道の駅の所につくっていただきたいと思いますが、そのような話がありますか。</p> |
| 事務局 | <p>インバウンドのお客様は、米沢は特に台湾から大勢お見えになっているという状況です。一方で米沢市内にインバウンドで来ておられるお客様でも、秘湯と言われる部分にいらっしゃる方もいます。最近では今までお見かけすることがなかった北欧からのお客様もいらっしゃいます。ですから、インバス・イントイレも大事な設備だと思うのですけれども、一方でその地域に合った施設を希望して来られる方もいらっしゃるということです。今、DMO の高付加価値化事業で、旅館の方が様々な形で施設を整備するという話もありますので、そういった制度も使っていただきながら施設の充実化を図っていただければ良いと思ったところです。</p> |
| 委員 | <p>そこまでは手が出ないというのが本音です。温泉にお聞きしたところ、補助金を使ってしたいのだけれども、それ以上にお金を出資しなければならなくてできないとおっしゃいます。</p> |
| 会長 | <p>観光はものすごく大事だと思います。一方で、お金の原資の限りはあるので何が有効な施策かというところを検討していかなければいけないと思います。委員の意見はすごく具体的で、1 つの案として有効ではないかと思いました。調査も併せてお願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>スポーツ施設について、皆様方にも認識してほしいと思うことがあります。現在、大きなところではプールと野球場が置賜でここでできない施設としてあります。両方ともべにばな国体で造った施設で、もう 30 年をとうに越して老朽化しています。そのことによって、子どもたちにも安全安心な施設を提供することが難しくなっています。それが給食無償化の問題で後送りになっています。プールも現在検査に入っていますが、パンク寸前です。今までも事故というか、機械の故障で水が緑色に変わったとかいろいろあります。野球場も芝が十何センチも上がりまして、馬でも走るのかというくらいのかかふかかな芝になっています。大会誘致も難しく、経済効果を上げることも難しいということもあります。子どもたちの体づくりから始まる健康長寿日本一だと</p> |

| | |
|-----|--|
| 会長 | <p>思います。</p> <p>スポーツとセットで誘致してくることはいろいろな所でやられていて、成功例もあると思います。委員の提案はプールや野球場などを整備すればそういった誘致が可能になるという御意見ですか。</p> |
| 委員 | <p>計画はあるのですが、財政的な問題が非常に大きいので、そのあたりを何とか捻出していただいて、大会を誘致したりできればと思っています。サッカー場も大学のサッカーをやるなど、指定管理者も一生懸命頑張っているのです。</p> |
| 事務局 | <p>プール、皆川球場だけではなく、市内のスポーツ施設に関しましてはそのほとんどが老朽化の進んでいる状況でございます。具体的に名前が挙がった市営プールにつきましては、今年度と令和8年度の2カ年度でろ過器等の給排水の更新を予定しております。あくまで計画でございますが今年度設計をいたしまして、令和8年度工事になります。予算が付けばということになりますけれども、現在その方向で進めております。野球場に関しましては、第4期実施計画にも挙げさせていただいて、開始する予定はありましたけれども、まずどこから着手したら良いのかということもございまして、委員から御指摘のありましたグラウンド内の芝や段差、あるいはスプリンクラー、さらにはラバーフェンス等もだいたい傷んでいる状況ですので、財政が厳しいという話もさせていただいておりますが、その中でどこまでできるかというところを改めて検討中でございます。その検討が済み次第できるものと考えております。</p> |
| 委員 | <p>花火大会も絶大なる協力ができました。花火大会をやるとしたらオーロラビジョンなどもつけていろいろなコマーシャルをしながらやると良いのではないのでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>人口流出等々について、米沢市で今一番必要なのは働く場所、それも魅力ある働く場所ではないかと思っています。八幡原工業団地もアルカディアも大体埋まって、新規の工業団地を計画なさっているという話を聞いたのですけれども教えてほしいです。</p> |
| 事務局 | <p>八幡原工業団地は既に用地を完売しております。オフィス・アルカディアにつきましても、残り6区画、面積で3ヘクタール余りと少なくなってきたおり、産業部には進出できるかの御相談がありますけれども、十分お応えできない状況になっております。そのようなことから新しい産業用地を造っていく必要があるということで、作業を進めているところです。何とか整備していきたいと考えておりますけれども、相当の予算が必要になりますので、慎重の上にも慎重を重ねて、造るのであれば規模はどのくらいにするか、手法はどうするか、財源をどのように確保するかといった課題を整理しているところです。</p> |
| 委員 | <p>難しいところだと思いますけれども、魅力があって働きたいと米沢市民、学生が思うような会社、そして賃金、厚生の面でも魅力的な企業を誘致いただければと思います。</p> |
| 委員 | <p>商工会議所は市内で商売をしている方の会員組織で、今、2,500弱の企業が会員として様々な活動をしていただいております。その中で近藤市長が「好循環の米沢」を掲げておられます。たまたまなのですけれども、加藤会頭も今年、「好循環への転換」ということで、今までコロナで停滞していたところから、好景気に向かって動いていきたいと思います。そのような中で、米沢市としては市民の所得</p> |

向上だと思えるのですけれども、商工会議所としては会員の所得向上も目指していかなければいけないということで以前から地域内経済循環ということで、地域通貨の提案もお願いさせていただいております。これはなかなか簡単には進まない案件だと思います。商店街連盟で今回、新しくカードを更新いたしまして、そのカードが今後使えるということでございますので、ぜひ将来的に地域通貨などの検討もお願いできればと考えています。あと、先ほどスポーツ関係のお話がありました。たまたま6月に天童で行われたサッカー、モンテディオのみちのくダービーの試合を見に行きました。その日は過去最高の1万6,000人が集まったということで、帰りに天童で食事して帰ろうかと思ったのですが、どこのお店も満員で入れないのです。天童でモンテの試合があると、天童市内の飲食店はすごい経済効果なのだということが分かりました。米沢市内を考えたときに、いろいろな大会やイベント等が行われておりますけれども、定期的にそういったスポーツ関係の試合の誘致なども行うと、市内の経済も上向いてくるのではないかと思いますので、これから米沢市と一緒に進めていければと思ったところです。

委員

今まで「ふれあいカード」は、ポイントカードとして使用していた赤いカード式のものでしたが、商連の内部で5年以上かけて話し合いをして、機械の耐用年数も過ぎているので新システムを入れようということになって、今年新しく「ふれあいカード」として入れさせていただきました。諸事情がありまして、まだ地域通貨はスタートしていません。というのが、将来的にアプリも併せて使えるようにするというので、今、アプリの最終開発をしています。現在使用いただけるのはポイントのみですが、11月のお多福市に合わせて、地域通貨も併せてスタートする予定になっております。お一人様3万円までのチャージで設置店で使えることになっております。もちろん使えるようになっただけでは駄目で、使えるお店を増やしたり、使っていただける方を増やすということで、段取りをしているところです。11月までもう少しお待ちいただきたいと思います。カードをお持ちの方はポイント交換をしておりますので、新カードへの移行の手続きをよろしく願いいたします。私から質問があります。先ほどから少子化の話は出ていたのですが、高齢化の話がほとんど出てないので、高齢化について向こう5年間くらいで結構ですので、どういったことを考えられているか、計画にも反映することになると思いますので教えてください。

事務局

高齢化については、今後も進んでいくと予想されております。高齢になられた方々はいつまでも元気でこの地域で過ごしていただきたいというところを目標にさせていただいております。今年度からになりますけれども、高齢者福祉計画も策定されまして、5年間の計画で進めさせていただきます。健康で過ごしていただくための施策を盛り込みながら、事業を展開させていただきたいと思っております。米沢市の場合、高齢者が増えてはおりますけれども、介護保険を使う事業、介護認定などを受ける方々の重度化が結構少なくなっています。介護認定の重度化が少なくなれば、保険料への影響も低くなるということで、健康長寿日本一を目指しておりますので、高齢化は進みますけれども、健康な高齢者の方を増やしていく施策を重点的に進めたいと考えているところです。

委員

先ほどの地域通貨の話と絡むのですが、健康ポイントなどの施策を市

です。今まで商連でもお手伝いをさせていただきましたが、地域通貨もポイント付与というところで使っていただきたいという話を以前させていただいたはずなので、何かあれば私どもも準備しますのでよろしくお願いします。

委員

米沢は自主防災組織が進んでおりませんで、市全体でもやっと 70% になったところでございます。この前の庄内地方、最上地方の大雨でも、幸い米沢は何も被害がなかったということで、素晴らしい所に我々は住んでいると思うと同時に、危機意識が甘くなって備えが後回しになってしまうのはどうしようもないとも思うのです。町内会としても防災会としても、何かあったときのために備えなければならないという気持ちはありながら、具体的に何をやったら良いか分からないとお話すると挙がってまいります。防災危機管理課でも出前講座で防災の基礎知識を中心にお話しされて頑張っておられますけれども、町内会として具体的な備えと対処法がまだ定まっておりません。その地域地域で違うわけですから、やり方を参考にして、その地域や町内に合わせて調整しながらやっていくという形にもっていかないと普及は難しいのではないかと思います。地区委員会の春の総会で皆様にアンケートをさせていただきました。防災組織は 70% だけでも、実際に機能する組織になっているかという御質問もさせていただきました。機能するだろうというのが 20% でした。また、災害時の要支援者を把握しておられますかという質問では 30% が把握しておられました。その災害時要支援者に対して支援者を決めていますかという質問に対しては、13% という非常に低い数字だったので、1 人で逃げられないお年寄りをどのようにして救うかというのも一番大切なことの 1 つです。どうやって災害時の要支援者を町内で把握するか、みんなで共有するか、支援者はどういう方に就いていただくかといった具体的なことを含めた資料がまとまったところがございます。先週、西部地区で 50 名ほど集まりましてお話しさせていただいたのですけれども、具体的で良かった、町内に持ち帰ってみんなで検討したい、防災組織はまだないので検討しなければならないという声をお聞きしております。具体的に何をしたら良いかを提案しながら、機能する防災組織をつくってもらうような支援、手助けをしていかないとはいけません。これからますます高齢化に伴って役員のなり手も少なくなる中で、今までのように防災の基礎知識の講演会を要請されるのを待つのではなく、こちらからプッシュ型で、例えばコミセンを中心にした地区毎で取り上げてもらうよう行政から積極的にやっていかないと大変ではないかと考えておりました。申し上げました。

会長

地域の強靱化ということだと思います。ハードのところだけではなくて、組織とか町内会などをコアにしてつくっていくという御提案ではないかと思いました。この審議会の提案でも取り入れていただければと考えております。

委員

10 年後を考えたときに、今の小学校、中学校の子どもたちが中心となって米沢を支えていくことも視野に入れながら考えていかなければいけないのではないかと思います。今をどうするかというよりは、10 年先にどういう米沢市になっていて、そこで支えていく子どもたちが大人になった時に米沢をどう活性化させていくかが重要な視点なのではないかと思っています。教育分野に関しては、米沢ブランド、「愛と義」と

いう上杉謙信公から脈々と受け継がれてきている、人情味が厚く道理や義理に厚いという米沢にずっと根付いてきているものがあると思います。子どもたちに「米沢に生まれて良かった、米沢で育って良かった」と思ってほしいし、外に出ていった時も私は米沢出身だ、米沢はこういう良いところがあるのだというように、自信と誇りを持ってほしいと思って教育しています。その子どもたちが中心になった時に、SDGs の観点であったり、ウェルビーイングの視点を重視していかなければいけないだろうと思います。子どもたちの親世代である 20 代、30 代の人たちが、魅力的で生活しやすいというまちをつくっていかない限り、子どもたちは増えていかないでしょうし、子どもたちを教育することもできません。子どもたちが大きくなった時に、米沢を支える人口が少なくなっていくというのは目に見えていることだと思います。ですから、今回の計画の中で、教育で子どもたちを育てるという観点はもちろん大切だと思うのですが、親世代を定住させる、あるいは引き込んでくるような施策をしっかりと打ち出さない限り、子どもたち、支える土台がいなくなっていくと思います。我々教育に携わる者としては、教育としてそういう子どもたちを育てていくということは考えていますが、その後ろ支えになる場所を市でも考えて、サポートしていただければと思います。最後に、ここに出てくる前に、本校の職員に「米沢の魅力って何」と聞いてみました。そうしたら、自然が豊かなところであるとか、人情味があるところとか、奥ゆかしいといった面もあるのだけれども、どちらかというところと引込み思案な人も多いし、奥ゆかしい人、変化を好まない人も多いとも話していました。そして、米沢は日本でも有名なものがたくさんあるのに、発信が下手だと言っていました。もっと発信する力、特に若者の SNS などの力もそうだと思うのですが、そういうものを意識して活用していく、若者を発信源にしていくということも大事な視点なのではないかと思っています。GIGA スクール構想でタブレットも導入されました。これからは学習の中で、米沢の良さ、地域の良さを世界に、あるいは日本の全国に発信していくこともできるようになりました。そういうものも含めて、米沢の良さに迫って、子どもたちが将来の米沢を支える人材として育っていけるようにしていきたいと思っています。学園都市でもありますので、様々な学生もいらっしゃいます。そういったものをフルに活用しながら、これからの米沢を活性化していきたいと思っています。私が小学生の頃はにぎわっていました。とても良いまちだと思っていたので、大学で他県に行った時もたくさん自慢しました。子どもたちが出ていった時に自慢できる米沢にしていきたい、そういう子どもを育てたいと思っております。

事務局

時間がかかり過ぎており、もう 1 つ議題が残っておりますので、文書でいただいても差し支えなければ事務局にお出しいただいても構いませんし、この場で御発言があるようでしたら、御発言いただくということでもよろしく願います。

会長

それでは、何か御意見がある場合には、文書でも受け付けるということですが、ぜひという方がいらっしゃいましたら願います。

委員

全く同じことを考えていました。とにかく PR が下手でよく言えば奥ゆかしい。でも、やはりいろいろな良いものがあるのに、それが全く外に出ていかないことが、良いところなのか悪いところなのか分からない

ですけれども、情報発信が弱いと思います。

(3) よねざわまちづくりフォーラムについて
(別紙3に基づき説明)

委員

今回提案いただいた内容では、高校生、若者、まち未来ミーティング参加者というように3パターンに分かれているのですけれども、先ほど御提案いただいた資料2に、世代間交流ですとか共生社会を目指すという言葉がございましたので、世代間交流の場にしてはいかがかと思っております。委員の皆様から各立場でそれぞれ課題を抱えていらっしゃることを伺ったので、それに対する若者の視点とか、それに対して、例えばお金集めの視点、それぞれの立場でいろいろなスキルがあると思うので、1つの課題に対してみんなで話し合っ、何か新しいことを生み出す場のようにしたら、このミーティングもすごく面白いのではないかと思います。5回も要らないので、3回くらいで同じメンバーで、ぜひ予算も付けていただいて、例えば「50万円くらいで何か好きなことをやれる」という形で実施してはいかがかという提案でございます。

事務局

提案させていただいた5回のミーティングの中ではなかなか難しいと考えますので、終わった後にメンバーの中で希望者を募ってそういったものできないかというようなことを考えてみたいと思います。

会長

全体を通しまして何か御意見がございましたらお受けしたいと思ます。

委員

意見ではないですけれども、時間が圧倒的に足りないところもあったので、後で文書を書かせていただきますけれども、もう少し時間を大きく取っていただければと思ました。

会長

意見が出ないことが一番困るのですが、時間が足りなくらい活発な御意見をいただいてありがたいと思っております。せっかくの場でございますので、たくさんの御意見をいただけるように工夫して進めてまいりたいと思っております。

委員

ただ今のまちづくりフォーラムのことで、5回のミーティングが終わった後ですけれども、委員にフィードバックがあるのか、市民の皆さんに広報よねざわなどを通じてお知らせがあるのか、その後について教えていただければと思ます。

事務局

フォーラムの結果につきましては、出た意見などを取りまとめまして、審議会にも御報告させていただきます。広報で示すかどうかは分かりませんが、会議の内容はホームページで周知いたしますので、広く公表したいと考えています。

【4 閉会】
省略